

## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月1日

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所 東  
 コード番号 3173 URL https://www.cominix.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)柳川 重昌  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長兼経理部長 (氏名)林 祐介 (TEL)06(6765)8201  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,229	12.3	250	24.1	224	8.2	126	4.9
30年3月期第1四半期	5,546	13.4	201	153.3	207	206.7	120	621.0

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 76百万円(△25.4%) 30年3月期第1四半期 102百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第1四半期	18	37	—	—
30年3月期第1四半期	17	51	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	14,440	34.6	5,029	34.6	—	—
30年3月期	14,167	35.3	5,028	35.3	—	—

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 4,992百万円 30年3月期 4,995百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
30年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
31年3月期(予想)	—	11.00	—	13.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,300	8.7	461	18.7	453	13.2	235	12.1	34.21
通期	25,500	8.1	1,050	24.8	1,040	24.3	557	20.3	81.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

31年3月期1Q	6,868,840株	30年3月期	6,868,840株
31年3月期1Q	220株	30年3月期	220株
31年3月期1Q	6,868,620株	30年3月期1Q	6,868,620株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年4月1日～平成30年6月30日）における我が国経済は、雇用・所得情勢の改善が続く中で、個人消費も持ち直しており、全体として緩やかな回復基調で推移いたしました。

また、世界経済も景気の拡大基調が継続したものの、米国を中心とした通商保護主義政策が今後の世界経済に与える影響が懸念されております。

当社グループの属する機械工具業界は国内外の活発な設備投資を背景に堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、新商材の販売拡充やテクニカルセンターの活用など企業成長のための取組みを積極的に展開いたしました。この結果、主要事業である切削工具事業や海外事業を中心として業績は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,229,494千円（前年同四半期比12.3%増）、営業利益は250,174千円（前年同四半期比24.1%増）、経常利益は224,915千円（前年同四半期比8.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は126,172千円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①切削工具事業

切削工具事業につきましては、機械工具業界が好調に推移する中、卸部門においては、主要取扱メーカーとのキャンペーン施策や新商材の販売拡充施策等により堅調に推移いたしました。直販部門においても、当社の強みである提案営業を進めた結果、自動車、工作機械などの業界向けの販売が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は3,950,779千円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント利益は120,782千円（前年同四半期比31.4%増）となりました。

#### ②耐摩工具事業

耐摩工具事業につきましては、製缶業界以外の業界の開拓も積極的に取り組んでおり、製袋ユーザー向けの販売等が伸長しましたが、製缶メーカーの主要顧客向けへの一部販売が第2四半期以後にずれ込んだことなどから、売上高及びセグメント利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は693,200千円（前年同四半期比2.7%減）、セグメント利益は68,138千円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

#### ③海外事業

海外事業につきましては、世界経済における米国、中国などの景気の拡大傾向が続く中、中国・メキシコ・タイにおいて自動車業界や工作機械業界向けの販売が増加した事等により売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,278,740千円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント利益は47,538千円（前年同四半期比103.3%増）となりました。

④光製品事業

光製品事業につきましては、中国でのフラットパネルディスプレイ関連の投資が活況となった影響から外観検査装置業界への光学機器等の販売が好調に推移したことなどにより売上高及びセグメント利益は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は306,773千円（前年同四半期比34.2%増）、セグメント利益は13,013千円（前年同四半期比52.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて255,009千円増加し、11,876,501千円となりました。これは主に、名古屋ロジスティクスセンター開設に伴い商品が380,337千円増加した一方で、現金及び預金が169,496千円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて18,746千円増加し、2,564,329千円となりました。これは主に、本社の改修工事及び社名変更に伴う看板等の設置等により有形固定資産が53,654千円増加した一方で、のれんの償却によりのれんが15,096千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて273,755千円増加し、14,440,830千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて348,923千円増加し、8,241,438千円となりました。これは主に、短期借入金514,350千円増加した一方で、法人税等の支払により未払法人税等が205,967千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて75,899千円減少し、1,170,261千円となりました。これは、長期借入金84,821千円減少したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて273,024千円増加し、9,411,700千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて731千円増加し、5,029,130千円となりました。これは、利益剰余金が50,617千円（親会社株主に帰属する四半期純利益126,172千円、剰余金の配当75,554千円）増加した一方で、為替換算調整勘定が44,834千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては平成30年5月8日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,760,722	1,591,225
受取手形及び売掛金	5,366,461	5,409,429
商品	4,199,312	4,579,649
その他	340,030	341,112
貸倒引当金	△45,033	△44,916
流動資産合計	11,621,491	11,876,501
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	274,450	304,707
土地	891,806	891,806
その他(純額)	159,346	182,744
有形固定資産合計	1,325,604	1,379,258
無形固定資産		
のれん	25,392	10,295
その他	196,041	199,030
無形固定資産合計	221,433	209,325
投資その他の資産		
その他	1,016,077	994,559
貸倒引当金	△17,532	△18,814
投資その他の資産合計	998,545	975,744
固定資産合計	2,545,583	2,564,329
資産合計	14,167,075	14,440,830
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,992,477	5,169,132
短期借入金	1,605,840	2,120,190
1年内返済予定の長期借入金	423,201	376,666
未払法人税等	265,903	59,935
賞与引当金	170,240	93,081
役員賞与引当金	42,300	21,038
その他	392,551	401,394
流動負債合計	7,892,514	8,241,438
固定負債		
長期借入金	794,648	709,827
役員退職慰労引当金	194,387	199,287
退職給付に係る負債	247,961	251,909
その他	9,164	9,237
固定負債合計	1,246,161	1,170,261
負債合計	9,138,676	9,411,700

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	350,198	350,198
資本剰余金	330,198	330,198
利益剰余金	4,158,363	4,208,981
自己株式	△118	△118
株主資本合計	4,838,641	4,889,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,960	36,631
為替換算調整勘定	111,927	67,092
その他の包括利益累計額合計	156,887	103,724
非支配株主持分	32,869	36,146
純資産合計	5,028,398	5,029,130
負債純資産合計	14,167,075	14,440,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,546,818	6,229,494
売上原価	4,422,674	4,926,360
売上総利益	1,124,143	1,303,133
販売費及び一般管理費	922,521	1,052,959
営業利益	201,622	250,174
営業外収益		
受取利息	232	442
受取配当金	1,025	1,080
仕入割引	13,616	17,577
その他	15,360	4,644
営業外収益合計	30,235	23,743
営業外費用		
支払利息	4,950	5,403
売上割引	9,842	10,909
為替差損	5,429	23,814
その他	3,679	8,875
営業外費用合計	23,902	49,002
経常利益	207,955	224,915
税金等調整前四半期純利益	207,955	224,915
法人税、住民税及び事業税	38,672	55,160
法人税等調整額	47,387	39,782
法人税等合計	86,059	94,943
四半期純利益	121,895	129,972
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,628	3,799
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,266	126,172

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	121,895	129,972
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,654	△8,329
為替換算調整勘定	△24,345	△45,356
その他の包括利益合計	△19,691	△53,686
四半期包括利益	102,204	76,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,968	73,009
非支配株主に係る四半期包括利益	235	3,276

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,454,303	712,077	1,151,854	228,583	5,546,818	—	5,546,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,484	—	5,673	—	9,158	△9,158	—
計	3,457,788	712,077	1,157,528	228,583	5,555,976	△9,158	5,546,818
セグメント利益	91,919	78,252	23,385	8,543	202,100	△478	201,622

(注)1 セグメント利益の調整額△478千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	切削工具事業	耐摩工具事業	海外事業	光製品事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,950,779	693,200	1,278,740	306,773	6,229,494	—	6,229,494
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,971	—	4,027	—	5,999	△5,999	—
計	3,952,751	693,200	1,282,767	306,773	6,235,494	△5,999	6,229,494
セグメント利益	120,782	68,138	47,538	13,013	249,473	701	250,174

(注)1 セグメント利益の調整額701千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。